

## 原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2020 月 5 月」

### 2020年

- 5 月 1 日 関西電力が、8 日から予定していた大飯原発 3 号機の定期検査開始を 2 ~3 カ月程度延期することを明らかにした。
- 5 月 1 日 九州電力が、玄海原発3、4号機に計画しているテロ対策施設「特定重大事故等対処施設」について、工事計画認可申請書の補正書を原子力規制委員会に提出した。
- 5 月 1 日 ロシア・カムチャツカ半島でクリュチェフスキー山が噴火し、噴煙が 7000 メートルまで上昇した。
- 5 月 2 日 環境省が、福島第一原発事故にともなう除染で出た土を再利用した土地でトマトやキュウリなどを栽培して安全性を確かめる実証事業を今月中にも始める。
- 5 月 2 日 プエルトリコ沿岸でマグニチュード 5.5 の地震が発生した。
- 5 月 2 日 ギリシャのクレタ島でマグニチュード 6.0 の地震が発生した。
- 5 月 3 日 20 時 54 分ごろ、薩摩半島西方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 6.0 と推定。鹿児島県鹿児島市、薩摩川内市、南さつま市、伊佐市、さつま町で震度3。
- 5 月 3 日 経済産業省資源エネルギー庁の幹部らが虚偽の公文書を作っていたことが発覚した。うその記載が複数の文書で計5カ所にあった。エネ庁幹部らは 3 月 16 日、金品受領問題で関西電力に業務改善命令を出す際、電力・ガス取引監視等委員会への事前聴取を忘れたことを隠すため、聴取日を命令前の「3 月 15 日」と偽った公文書を作成した。
- 5 月 4 日 22 時 07 分ごろ、千葉県北東部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 5.5 と推定。茨城県神栖市、千葉県東金市、旭市、匝瑳市、香取市、山武市、多古町、芝山町、横芝光町で震度4、茨城県、千葉県の広域で震度3。
- 5 月 4 日 22 時 34 分ごろ、茨城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.4 と推定。茨城県水戸市、日立市、鉾田市で震度3。
- 5 月 4 日 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、原子力規制委員会の審査が進まない。テロ対策施設などの非公開審査は秘密保持のためテレビ会議では会合を開けず、書面に限った対応を余儀なくされる。審査が長引けば原発の稼働状況に影響しかねない、との見方も出ている。

- 5月6日 午前1時57分ごろ、千葉県北西部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。千葉県千葉中央区で震度4、関東広域で震度3。
- 5月6日 日本時間22時53分ごろ、インドネシア東部バンダ海沿岸部でマグニチュード6.9の地震が発生。
- 5月6日 午前10時16分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.4と推定。福島県檜葉町で震度3。
- 5月7日 クリル諸島パラムシル島のエベコ山で噴火が発生し、1900メートルまで噴煙が上昇した。
- 5月7日 午後6時24分ごろ、韓国の70万キロワット級の月城原発4号機で発電が停止した。事故は励磁機の故障で発生した。交換および整備作業を終え、8日午後10時43分に発電を再開した。
- 5月8日 日本時間午前5時48分ごろ、イランでマグニチュード5.1の地震が発生した。
- 5月9日 午前6時35分ごろ、岩手県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。岩手県久慈市、普代村で震度3。
- 5月9日 午前5時31分、桜島の南岳山頂火口で爆発があった。鹿児島地方気象台によると、噴煙の高さは4200メートルで、大きな噴石が7合目(火口から600~900メートル)まで飛散した。
- 5月10日 午前7時42分ごろ、茨城県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.3と推定。茨城県日立市で震度3。
- 5月10日 日本時間午前4時18分ごろ、フィリピンの南部でマグニチュード5.3の地震が発生した。
- 5月10日 韓国で脱原発ロードマップが発表され、現在25基ある原発が2034年には17基になり、全電力生産で原子力発電が占める割合は10%以下に下がる。代わりに再生可能エネルギー発電の割合は40%に上がることになる。
- 5月11日 福島第一原発の処理済み汚染水の処分方法について、政府が、東京都内で、日本経済団体連合会、日本チェーンストア協会など5つの経済団体の代表者から意見を聞く会を開いた。風評被害への懸念や丁寧な情報発信を求める声とともに、風評対策の具体的な提案も相次いだ。
- 5月11日 午前8時58分ごろ、茨城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.5と推定。福島県郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、田村市、天栄村、泉崎村、玉川村、双葉町、茨城県水戸市、日立市、土浦市、石岡市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、

茨城鹿嶋市、潮来市、常陸大宮市、神栖市、鉾田市、小美玉市、茨城町、城里町、東海村、大子町、千葉県旭市、香取市で震度3。

5月11日 日本時間午前10時6分ごろ、インドネシア東部のタニンバル諸島でマグニチュード5.6の地震が発生した。

5月12日 日本の外務省にあたる韓国外交部が、韓国とアラブ首長国連邦の原子力高官級協議会の両国実務グループ代表主宰の下、「韓国・UAE 原子力協力関連ビデオ会議」を実施したことを明らかにした。

5月12日 東京電力が、社員らに新型コロナウイルスの感染者が相次いだことで中断していた柏崎刈羽原発での工事を再開すると発表した。

5月12日 午前11時44分ごろ、釧路沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.3と推定。北海道根室市で震度3。

5月12日 クリル諸島パラムシル島のエベコ山で噴火が発生し、2500メートルまで噴煙が上昇した。

5月12日 茨城県が、東海第二原発での事故に備え、住民らが避難する際に放射性物質の付着を調べる「避難退域時検査(スクリーニング)」の実施場所34カ所を決めた。事故の規模は想定されておらず、放出される放射性物質の量や風向きによっては使えない検査場も出てくる可能性がある。

5月12日 福島第一原発の汚染水の処分方法をめぐって、国の担当者が、漁業が盛んな福島県新地町の議会で説明を行った。議員からは、海か大気中に放出する案に対し、漁業などへの風評を懸念する声などがあがった。

5月13日 原子力規制委員会の定例会合で、青森県六ヶ所村の使用済み核燃料再処理工場の事故対策が新規基準に適合しているとする「審査書案」を了承した。本格稼働の前提となる新基準に事実上適合した。今後、一般からの意見公募や経済産業相への意見照会などを経て、正式適合となる。

5月13日 15時15分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。岐阜県高山市で震度3。

5月13日 22時46分ごろ、釧路沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。北海道浜中町で震度3。

5月13日 南太平洋のサンタクルーズ諸島沖でマグニチュード6.6の地震が発生した。

5月13日 台湾の複数の環境保護団体が、日本の対台湾窓口機関、日本台湾交流協会台北事務所に、福島第一原発の汚染水の海洋放出に反対する意見書を提出した。

5月13日 島根原発にある低レベル放射性廃棄物の一時的な保管などに使う「サイトバンカ建物」で、法定の巡視を怠っていた問題で、2002年度以降、8人が

計 32 日、巡視をしていなかった。いずれも虚偽の報告をしており、原子力規制委員会は原子炉等規制法に基づく保安規定違反(監視)と判定した。

- 5 月 13 日 原子力規制委員会が、伊方原発の 2019 年度第 4 四半期(2020 年 1~3 月)保安検査結果を発表した。3 号機の重大事故時に中央制御室への放射性物質流入を防ぐ空調装置のフィルターを検査する時期に誤りがあった保安規定違反を指摘し、違反区分を「監視」と判断した。
- 5 月 13 日 木幡浩福島市長が、福島第一原発の処理水の処分を巡り、処分場所について「福島での処分を前提とした議論が多いと受け止めている」、「(福島県以外での実施について)国には全国的な視点に立って問題提起してもらいたい」と表明した。
- 5 月 13 日 青森県六ヶ所村の使用済み核燃料再処理工場が新規規制基準の適合性審査に事実上「合格」したことに関し、原子力規制委員会の更田豊志委員長は「前例がなく、手探りだった」と審査が長期化した理由を述べた。
- 5 月 14 日 東京電力が、福島第一原発 2 号機の使用済み燃料プールの内部調査に向け、水中ドローンの操作訓練を開始した。福島県南相馬市の福島ロボットテストフィールドで 3 日間実施し、6 月中旬に予定する調査に備える。
- 5 月 14 日 新型コロナウイルスの感染が続く中、原発で大事故が起きるなどした際の避難計画には感染症の流行への具体的な対策が示されていないことから、内閣府は計画内容の見直しの検討を進めることになった。
- 5 月 14 日 日本時間午前 10 時 22 分ごろ、クリル諸島沖でマグニチュード 4.9 の地震が発生した。
- 5 月 14 日 ドイツ南部にある原子力発電所の冷却塔 2 基が、爆破解体された。電力会社によると跡地には変電所が建てられる。
- 5 月 15 日 九州電力が、2019 年 12 月の玄海原発敷地内での火災に関して、消防への通報に関する社内規定を変更した。これまでは炎と煙が確認され、消火が必要と判断した場合に通報するとしていたが、炎が確認できなくても煙を確認したら通報するよう見直した。
- 5 月 15 日 午前 6 時 40 分ごろ、宮城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは 4.5 と推定。岩手県一関市、釜石市で震度 3。
- 5 月 15 日 九州電力が、玄海原発から大気中に排出した放射性廃棄物トリチウムの量を国などに過少報告していた問題で、社内の情報共有不足により、焼却施設に設置された一部の送風機の風量を計算に入れていなかったのが原因だったと発表した。期間は 1983 年度以降の 36 年間、記録が残る 2009 ~18 年度のうち最大だった 10 年度は報告の 3.7 倍のトリチウムを排出していた。

- 5月16日 午前6時27分ごろ、茨城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.9と推定。茨城県水戸市で震度3。
- 5月17日 20時38分ごろ、紀伊水道を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。徳島県阿南市で震度4、和歌山県御坊市、湯浅町、由良町、日高川町、徳島県徳島市、美馬市、石井町、神山町、牟岐町、美波町で震度3。
- 5月18日 12時00分ごろ、宮城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.2と推定。宮城県松島町で震度4、岩手県一関市、宮城県宮城野区、若林区、泉区、石巻市、塩竈市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、東松島市、大崎市、蔵王町、大河原町、村田町、宮城川崎町、亘理町、山元町、七ヶ浜町、利府町、大郷町、大衡村、涌谷町、宮城美里町、女川町、福島県相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、福島伊達市、桑折町、国見町、川俣町、大熊町、双葉町、新地町、飯舘村で震度3。
- 5月18日 新型コロナウイルスの流行下、原発の重大事故が起きても安全に避難できないとして、福井県にある関西電力の高浜原発1～4号、大飯原発3、4号、美浜原発3号の運転差し止めを求める仮処分を大阪地裁に申し立てた。
- 5月19日 12時17分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.3と推定。宮城県角田市、岩沼市、亘理町、山元町、福島県相馬市、二本松市、南相馬市、国見町、川俣町、楡葉町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町で震度4、宮城県から福島県の広域で震度3。
- 5月19日 13時13分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.3と推定。岐阜県高山市で震度4、長野県長野市、松本市、安曇野市、小川村、岐阜県飛騨市で震度3。
- 5月19日 14時23分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。岐阜県高山市で震度3。
- 5月19日 14時33分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。岐阜県高山市で震度3。
- 5月19日 16時05分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.7と推定。岐阜県高山市で震度3。
- 5月19日 16時55分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.4と推定。岐阜県高山市で震度3。
- 5月19日 18時45分ごろ、奄美大島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。鹿児島県瀬戸内町で震度3。
- 5月19日 日本時間22時47分ごろ、中国・雲南省でマグニチュード5の地震が発生した。

- 5月20日 川内原発2号機の原子炉が停止した。テロ対策で設置が義務付けられた「特定重大事故等対処施設」の完成が間に合わないため。
- 5月20日 女川原発の重大事故発生時、原発5キロ圏内の予防的防護措置区域の住民が避難先へ到着するのに最悪で3日弱かかる恐れがあることが分かった。
- 5月20日 九州電力が、玄海原発4号機の安全性向上評価の届出書を原子力規制委員会に提出した。テロ対策施設の整備や教育・訓練の強化などの安全対策と実施時期を記載した。
- 5月21日 衆議院東日本大震災復興特別委員会で、復興庁の設置期限を10年延長する法案を賛成多数で可決した。衆院本会議で可決し、参院に送付される見通し。
- 5月21日 **ギリシャ沖でマグニチュード6.2の地震が発生した。**
- 5月21日 **東京電力が、福島第一原発3号機の使用済み核燃料プールで、取っ手**  
**が変形している燃料8体の吊り上げ試験を実施した結果、1体が動か**  
**なかったと明らかにした。**
- 5月21日 日本原子力発電の2020年3月期連結決算は、売上高が前期比12.1%減の996億円、純利益は22.1%減の25億円だった。原発の停止で販売電力量はゼロだったが、原発の維持費として大手電力から受け取る「基本料金」が経営を支え、黒字を確保した。
- 5月22日 宮城県などが、女川原発1号機の廃炉計画に同意することを伝えた。東北電力は廃炉作業を2020年9月までに作業を始める方針を示した。
- 5月22日 20時11分ごろ、沖縄本島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。鹿児島県知名町で震度3。
- 5月22日 カムチャツカのクリュチェフスコイ火山が噴火し、火山灰の高さは海拔5500メートルに上った。
- 5月22日 **クリル諸島パラムシル島のエベコ山が噴煙柱を上げた。**
- 5月23日 敦賀原発2号機の安全審査に関する資料の無断書き換え問題を受け、原電が資料とその根拠になった地層の調査データとを照らし合わせたところ、250カ所以上で変更点があった。委託先の調査会社がデータの評価を改めていたためだが、その経緯などの記録は資料に残されていなかった。
- 5月23日 午前4時33分ごろ、沖縄本島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.9と推定。鹿児島県天城町で震度4、鹿児島県伊仙町、知名町、与論町、沖縄県国頭村、伊平屋村で震度3。
- 5月23日 日本時間午前9時14分ごろ、インドネシア東部のバンダ海でマグニチュード5.7の地震が発生した。

- 5月24日 日本時間午前5時ごろ、ロシア南部のインギーシ共和国でマグニチュード4.3の地震が発生した。
- 5月24日 21時10分ごろ、三宅島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。東京都御蔵島村で震度3。
- 5月25日 日本時間午前4時53分ごろ、ニュージーランド沖でマグニチュード5.6の地震が発生した。
- 5月25日 東京電力が、福島第一原発で内部被ばく線量を調べるホールボディカウンターで、別の作業員が「替え玉」で検査を受けた事例が計31件あったと発表した。様々な理由で検査を受けられない作業員の代わりに、同僚が検査を受けていた。
- 5月25日 経済産業省が、福島第一原発の汚染処理水の処分方法について、意見募集(パブリックコメント)を6月15日まで延長して受け付けることにした。
- 5月26日 玄海原発の重大事故などに備え、唐津市が離島7島へのヘリポート整備事業について、市は6月補正予算案に調査費など1524万円を計上した。昨年度、国から「補助金申請の内容が不十分」との指摘を受け、整備が遅れていた。
- 5月26日 福島第一原発事故の健康への影響を調べる福島県の県民健康調査の検討委員会は、妊産婦を対象にした調査を2020年度で終了する方針を固めた。
- 5月26日 午前4時38分ごろ、種子島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。鹿児島県南種子町で震度3。
- 5月26日 ニュージーランド沿岸部でマグニチュード5.2の地震が発生した。
- 5月27日 日本時間午前10時09分ごろ、ギリシャ沖でマグニチュード5.0の地震が発生した。
- 5月27日 ロシア国営原子力大手ロスアトムが、極東チュコト自治管区ペベク沖の北極海で、世界初の船舶型原発「アカデミック・ロモノソフ」の商業運転を始めた。
- 5月28日 原子力規制委員会が、柏崎刈羽原発の安全管理事項を定めた保安規定に「福島第一原発の廃炉をやり遂げる」などとする基本姿勢を盛り込んだ東電の変更案について、順守できない場合などの対応が曖昧だとして再検討を求めた。
- 5月28日 中部電力が、稼働停止中の浜岡原発4、5号機に、7月以降に新燃料を運び込むと発表した。新燃料の輸送は震災前の2010年9月以来約10年ぶり。

- 5月29日 東京電力が、福島第二原発の廃炉計画の認可申請を原子力規制委員会に提出した。廃炉作業を4段階に分けて行い、約44年かけて完了を目指す。
- 5月29日 東北電力が、新規制基準適合性審査に合格した女川原発2号機を巡り、詳細設計を示した「工事計画」の補正書を原子力規制委員会に提出した。
- 5月29日 19時05分ごろ、岐阜県飛騨地方を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.2と推定。岐阜県高山市で震度4、長野県松本市、山形村、岐阜県飛騨市で震度3。
- 5月31日 午前3時14分ごろ、十勝沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.8と推定。北海道釧路市、根室市、浦幌町、釧路町、標茶町、弟子屈町、別海町、中標津町、標津町で震度4、北海道広域で震度3。